



弘前大学における麻酔科専門研修の魅力

内田 達士 麻酔科 助教

2018年3月 弘前大学卒

麻酔科専門研修プログラム 2020年度開始



私は弘前大学を卒業した後、むつ総合病院で2年間初期臨床研修を行いました。麻酔科ローテーション中に全身管理の魅力や、薬物力学及び薬物動体学を考えることの面白さを学びました。初期臨床研修終了後、2020年度から弘前大学医学部附属病院麻酔科専門研修プログラムを開始しました。

専門研修に当院を選んだ理由は、各科で最新かつ最先端の治療が行われているため、より重症度の高い手術患者の麻酔管理を経験できると考えたからです。加えて、麻酔科は手術部だけでなく集中治療室やペイン外来の対応も担っているため、幅広い視野で専門研修を過ごすことが可能です。また、並行して大学院博士課程も履修できるため、恵まれた環境の中で学会発表や論文作成も行うことができました。弘前大学では後期研修医の学会発表支援を行っており、海外学会での発表機会を複数回得ることができました。後期研修医期間は若手医師として努力するべき要点が集約されており、弘前大学医学部附属病院はそれらに対して複合的に支援を行っていると感じました。

麻酔科に興味がある学生、研修医の皆さん、ぜひ一度見学にお越しください。



ヨーロッパ集中治療医学会2022(フランス、パリ)